

## アンケート

- ①今回参加したことで、ご自身のまちづくりへの意識や、これからの生活・行動に何か変化は起こりそうか。

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>○市民と市の距離感が縮まったと感じる。</li><li>○まちづくりについて話す身近な人（近所、子どもの学校関係の友人など）をつくろうと思った。</li><li>○「最初にゴールをはっきり決める」重要性を学び、今後の協働の取組みでも意識していきたい。</li><li>○同世代の市民と市のコミュニティが広がれば、行政サービスを行う上での大きな武器になると感じた。</li><li>○生活の中で参加できる協働やまちづくりに、壁にめげることなくチャンスを見つけて参加していきたい。</li></ul>

- ②このような機会がある場合に、希望するテーマや内容は何か。

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>○高校生や大学生などのもっと若い市民と、同じようなテーマで話をしてみたい。</li><li>○テーマを絞らずに、人とつながれる機会に参加したい。</li><li>○まちづくりの具体的な事柄について話し合う場が欲しい。</li><li>○市の現状把握と未来図を知る会のようなものがあれば参加したい。</li><li>○1回で終わるのはもったいないので、連続性のあるものにしてつながっていききたい。</li></ul>

- ③若い世代のまちづくりへの関わり方について

主な意見
<ul style="list-style-type: none"><li>○ボランティアなど、学生の専門知識が活かせる分野で連携できたらよい。</li><li>○若者は、まずは要望でもよいので、市に思いを伝えてみるなど、声を出すことが必要。また、身近な人達と色々話すことも必要。</li><li>○市が情報を継続的に発信し共有しつづけることで、若い人たちの“いつか少し手が空いたら、手伝える”という気持ちの持続につながり、結果的にそれぞれのタイミングで若者に関わってもらえることにつながる。</li><li>○そもそも何で若い人の考えや意見が必要なのか、明確にしてほしい。それを踏まえた上で、大学生をはじめとした若い人が主体的に活動できる機会を設ける必要がある。</li><li>○自分が楽しいからまちづくりに参加するという動機が一番だと思う。まちづくりが楽しいという切り口で発信してみるとよい。</li></ul>